



# るるるる



2022年  
7月  
No.895

■発行所 ■  
日本福音ルーテル教会事務局広報室  
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1  
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <https://jelc.or.jp/>  
■E-mail ■ [jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)

■発行人 ■ 李 明生 koho@jelc.or.jp  
■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社  
■定 価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)  
■振替口座 ■ 00190-7-71734

## 説教 「わたしの隣人」

日本福音ルーテル拳母教会・刈谷教会 牧師 室原康志

彼は答えた。「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい」とあります。「イエスは言われた。『正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。』しかし、彼は自分を正当化しようとして、『では、わたしの隣人とはだれですか?』と言った。

ルカによる福音書 10章27〜29節



律法の専門家がイエスを

を試そうとして、「何をしたら永遠の生命が受けられるか」との問いかけをしますが、イエスから「律法にはなんと書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と聞き返されました。彼は

間髪入れずに応えたようですが、「隣人とは誰か?」と、確かめようとする姿があります。同一民族で考えれば良いのか、律法学者仲間だけで考えれば良いのか。はたまた、ユダヤ教を信仰に持つ者で考えれば良いのか。

私が初任地、シオン教会防府チャペル牧師館に住んでいた時、時折「○」に行こうとしていたが、途中でお金が尽きた

ので少し恵んで欲しい」「組の者から追われて広島から逃げてきた。大分の親類を頼りたいので、お金を出して欲しい」と相談に来る方がいました。とりあえず話を聞くのですが、現金を渡すのはどうかと考え、教会集会所で食事の提供をすることもあります。「大分に行きたい」と言った方には、「明日の朝、私の車で送りますよ。」と応えると、「大丈夫です、どうにかします」と言われ、すぐに敷地から走り去ってしまいました。そんな中、路上生活の方が訪ねてこられ、おにぎりを手渡し機会があったのですが、この方をきっかけに数日後に日本バ

プテスト連盟と日本基督教団の牧師、カトリック教会の神父の4名で路上生活の方々への支援活動が始まりました。この活動をきっかけに、同じ主に導かれ、キリストが示された愛を実現することに於いて、「困難を抱えている人、救いを求めている人がいるときに、教派的な相違は乗り越えられる」ことを確認しました。

イエスは「隣人とは誰か?」を理解しやすいように、「善きサマリア人」の傷ついた人への対応の話をします。祭司は神殿に仕えていました。レビ人も祭司職に属し、一般の人々に律法を教える役割を果たしていました。この2人は、どちらも律法に精通し、ユダヤ民族としての誇りを強く持っていたことでしょう。しかし、彼らは「その人を見ると、道の向こう側を通っていった」のです。倒れた人に近寄って介抱したのはサマリア人。純潔、純粋民族を誇

りとするユダヤ人によつて、同じユダヤ人でありながら、異邦人の血が混じっているという理由で、蔑まれ、敵視されていた人々です。

3人の行動は、「向こう側を通って行った」存在と、「近寄って」きた存在になりませんが、傷ついた人に対し「向こう側」にあるのは、能動的な生き方であり、自分の言動は正しいと自信を持っている人でしょう。「近寄ってきた」サマリア人は、ユダヤ人でありながら蔑視され、傷つき苦しみを抱えて生きて来た人であり、自分自身を愛するようにはなく、自分が愛されたようにとの受動的な生き方をしたと考えられます。サマリア人とはアッシリアに連れられたイスラエルの子孫であり、植民移住により強制的に混血を強いられたともいえます。その苦しみを通し、傷ついた人の痛みや辛さを知っており、自分の弱さを知るが故に、近寄る

行動をとれたのです。シオン教会で最初の頃の私は、訪ねてこられる方への対応が、祭司やレビ人と同じ、「自分を愛するように」しか出来ていませんでした。何処かで自分の痛みとして捉えることへの恐れを抱いていたのだと思えます。自分自身が傷ついていたとき、慰められたにも関わらず、何か消化出来ていない部分が存在しました。そのような私に、路上生活をしていた方がきっかけを与えてくれたのです。私が近づいたのではなく、彼が私に近寄ってくださいだったのでその瞬間、「支援しなければ」という驕った考えから、「支援させていだきます」の気持ちで大事にしたいと、変えられました。そして常に気をつけたいと思うのです。自分を正当化するのではなく、「自分のように、自分が神さまから愛されているように、私の隣人を愛するように。」

「あなたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていくことができます。」(1コリント10:13)

「検査の結果は何の病気でしたか?」そう聞いた私に「〇〇だったわ。とその方は平気に答えられました。えっ大変な病気なのに。その方は今回わかった病気の前に違う病気を長年患っておられました。私と同じ様な経験をされておられるんだと思つた時、

私にとつて、もうその方はとても身近に思えました。私も昔病気がわかった時はとても苦しみましたが最近患つた一般的には大病と言われる病気の診断を受けた時はそんなに苦しみませんでした。もう一人そのような人がいました。二つの病気を比べたわけではありません。二つの病気を乗り越えられたか乗り越えようとしているのかもありません。

ある人は「初めの病気を診断された時の方がショックだった。」と言われました。私もショックの中イエス様が共におられたから乗り越えられそうだと思います。私の表現を使えば「イエス様が共におられるから」と言えますが他の方の表現では色々な言葉で表現されるでしょう。病気の種類の比較ではなく、一人一人の経験です。一つ一つの経験という出会いの中でも必ずイエス様は共におられます。あなたは決して一人ではありません。



レンブラント作「善きサマリア人」(1630年作) ロンドン・ウォレス・コレクション所蔵

りとするユダヤ人によつて、同じユダヤ人でありながら、異邦人の血が混じっているという理由で、蔑まれ、敵視されていた人々です。

3人の行動は、「向こう側を通って行った」存在と、「近寄って」きた存在になりませんが、傷ついた人に対し「向こう側」にあるのは、能動的な生き方であり、自分の言動は正しいと自信を持っている人でしょう。「近寄ってきた」サマリア人は、ユダヤ人でありながら蔑視され、傷つき苦しみを抱えて生きて来た人であり、自分自身を愛するようにはなく、自分が愛されたようにとの受動的な生き方をしたと考えられます。サマリア人とはアッシリアに連れられたイスラエルの子孫であり、植民移住により強制的に混血を強いられたともいえます。その苦しみを通し、傷ついた人の痛みや辛さを知っており、自分の弱さを知るが故に、近寄る

行動をとれたのです。シオン教会で最初の頃の私は、訪ねてこられる方への対応が、祭司やレビ人と同じ、「自分を愛するように」しか出来ていませんでした。何処かで自分の痛みとして捉えることへの恐れを抱いていたのだと思えます。自分自身が傷ついていたとき、慰められたにも関わらず、何か消化出来ていない部分が存在しました。そのような私に、路上生活をしていた方がきっかけを与えてくれたのです。私が近づいたのではなく、彼が私に近寄ってくださいだったのでその瞬間、「支援しなければ」という驕った考えから、「支援させていだきます」の気持ちで大事にしたいと、変えられました。そして常に気をつけたいと思うのです。自分を正当化するのではなく、「自分のように、自分が神さまから愛されているように、私の隣人を愛するように。」



伊藤貞奈

⑳「一人ではない」

「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていくことができます。」(1コリント10:13)

「検査の結果は何の病気でしたか?」そう聞いた私に「〇〇だったわ。とその方は平気に答えられました。えっ大変な病気なのに。その方は今回わかった病気の前に違う病気を長年患っておられました。私と同じ様な経験をされておられるんだと思つた時、

私にとつて、もうその方はとても身近に思えました。私も昔病気がわかった時はとても苦しみましたが最近患つた一般的には大病と言われる病気の診断を受けた時はそんなに苦しみませんでした。もう一人そのような人がいました。二つの病気を比べたわけではありません。二つの病気を乗り越えられたか乗り越えようとしているのかもありません。

ある人は「初めの病気を診断された時の方がショックだった。」と言われました。私もショックの中イエス様が共におられたから乗り越えられそうだと思います。私の表現を使えば「イエス様が共におられるから」と言えますが他の方の表現では色々な言葉で表現されるでしょう。病気の種類の比較ではなく、一人一人の経験です。一つ一つの経験という出会いの中でも必ずイエス様は共におられます。あなたは決して一人ではありません。

「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていくことができます。」(1コリント10:13)

「検査の結果は何の病気でしたか?」そう聞いた私に「〇〇だったわ。とその方は平気に答えられました。えっ大変な病気なのに。その方は今回わかった病気の前に違う病気を長年患っておられました。私と同じ様な経験をされておられるんだと思つた時、

私にとつて、もうその方はとても身近に思えました。私も昔病気がわかった時はとても苦しみましたが最近患つた一般的には大病と言われる病気の診断を受けた時はそんなに苦しみませんでした。もう一人そのような人がいました。二つの病気を比べたわけではありません。二つの病気を乗り越えられたか乗り越えようとしているのかもありません。

ある人は「初めの病気を診断された時の方がショックだった。」と言われました。私もショックの中イエス様が共におられたから乗り越えられそうだと思います。私の表現を使えば「イエス様が共におられるから」と言えますが他の方の表現では色々な言葉で表現されるでしょう。病気の種類の比較ではなく、一人一人の経験です。一つ一つの経験という出会いの中でも必ずイエス様は共におられます。あなたは決して一人ではありません。

「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていくことができます。」(1コリント10:13)

「検査の結果は何の病気でしたか?」そう聞いた私に「〇〇だったわ。とその方は平気に答えられました。えっ大変な病気なのに。その方は今回わかった病気の前に違う病気を長年患っておられました。私と同じ様な経験をされておられるんだと思つた時、

私にとつて、もうその方はとても身近に思えました。私も昔病気がわかった時はとても苦しみましたが最近患つた一般的には大病と言われる病気の診断を受けた時はそんなに苦しみませんでした。もう一人そのような人がいました。二つの病気を比べたわけではありません。二つの病気を乗り越えられたか乗り越えようとしているのかもありません。

ある人は「初めの病気を診断された時の方がショックだった。」と言われました。私もショックの中イエス様が共におられたから乗り越えられそうだと思います。私の表現を使えば「イエス様が共におられるから」と言えますが他の方の表現では色々な言葉で表現されるでしょう。病気の種類の比較ではなく、一人一人の経験です。一つ一つの経験という出会いの中でも必ずイエス様は共におられます。あなたは決して一人ではありません。

### 連帯献金 「ウクライナ人道支援献金」報告

ルーテル世界連盟(LWF)を通して行われているウクライナ人道支援活動に対する連帯献金での受け入れは5月末で847万6049円となりました。感謝して報告いたします。なお連帯献金での受け入れは5月末をもって一旦終了いたしました。皆様のお祈りとお支えに感謝申し上げます。

LWFによる支援活動の最新情報は、以下のサイトをご参照ください。

<https://www.lutheranworld.org/content/support-people-and-churches-ukraine>







議長室から 大柴 謙治

最中、あの東日本大震災が起きます。ご遺族の許可を得て、那須の「自宅」に資料発掘に行きました。全体を10巻に分けて「遺族の援助の下で出版が始まります。4人で始めた作業は結局7人のコラボレーションになり、各巻の巻末には関係者から貴重な文章が寄せられ

### 「小川修・パウロ書簡講義録」(全10巻、リトロン)完結

同僚たちと関わってきた仕事がつ、4月に終わりました。神学校での恩師・小川修先生(1940~2011)が同志社大学で行ったパウロ書簡講義録を録音から起こす作業が完了したので、11年がかかりました。走馬灯のように思い出が去来します。ガンで召された先生の納骨を小平霊園で行う

た、パウロの「ピステイス」理解が息づいています。天地が揺れ動くように決して揺らがないもの、それが「神の(まこと)と(ピステイス)」。ピステイスというギリシャ語は通常「信仰」と訳されますが、先生はそれを「まこと」と訳し、「第二義の(まこと)」と「第二義の(まこと)」を峻別するの

川建三の『イエスという男』、滝沢克己の『聖書のイエスと現代の思惟を比較検討する意欲的な講義』でした。聖書は読む者の心を映し出す鏡であることを悟るようになったのです。同時に「説教者」として私は、自らの思い込みを聖書に投影するのはなく、聖書自体に語りしめ

### 「教会讚美歌 増補」解説



⑤創作賛美歌解説5  
増補29番「主にある友よ」

日笠山太吉 (博多教区)

「ひととき、お怒りになつても、命を得させることを御旨としてくださる。泣きながら夜を過す人にも、喜びの歌と共に朝を迎えさせてくださる。」(詩編30:6)この詩人の感謝に、私は深い祈りを重ねます。急ぎ足でやってくる老いの歩みの中で、生かされている感謝と共に、自らの反省、悔いがあり

クしてみてください。きっと手心えある応答があります。若い方々への希望と祈りを重ねた拙詩に萩森英明氏が心優しい曲を、日田教会の秋山菜穂さんがイラスト、お母さんの真由美さんがちぎり絵でイメージしてください。感謝です。

私たちが持つたのがこの作品の生まれのきっかけです。私は子どもを持ちませんので、子ども賛美歌を作詞することに躊躇と不安がありました。教会で子どもたちが洗礼式にたびたび立ち会

### 世界の教会の声

浅野直樹 Sr. (世界宣教理事)

「命の木の下に」  
他宗教との集い

去る5月16日、「命の木に集う」をテーマにルター派とユダヤ教の神学者によるLWF主催のウェビナーが行われました。「命の木」とは創世記2章に出てくる善悪の

知識の木といつしに神が創造したもう一本の木です。LWFは1947年の創立当初からユダヤ教社会との対話を続けていますが、これはマルティン・ルターが反ユダヤ的な文書を書いたという経緯があるからです。新型コロナウイルスの世界的大流行を契機に、欧米社会では反ユダヤ主義的な陰謀論が広



# エキユメニカルな交わりから

## ④NCC青年委員会

安田真由子  
(都南教会)  
高村敏浩  
(三鷹教会)  
羽村教会(牧師)

日本キリスト教協議会(NCC)の青年委員会には、現在安田真由子(都南教会)と高村敏浩(三鷹教会・羽村教会(牧師))が委員として関わっています。

事を共に色々やってみようとしていく繋がり」と定義し活動しています。現在活動を担っているのは、日本聖公会、日本基督教団、日本バプテスマ連盟、ウエスレー財団、そして私たち日本福音ルーテル教会からの委員であり、信徒と牧師がほぼ半々の割合の構成となっています。以前は、年に2・3度の頻度で何かしらのテーマのもとで集まり、食事と交流を伴う「エキユメニカルユースの集い」を行っていました。しかし、コ

ロナ禍の現在は、それぞれの教派でどのような活動を行っているのかなどといった情報交換や、コロナ禍での苦労や課題を分かち合ったりして、繋がりやヒントを提供するオンラインでのイベントが中心となっています。

オンラインでの授業などに疲れた青年には、アピールする力が弱いことは否めませんが、それでも、オンラインになつたことで、これまで首都圏に住んでいなければ参加できなかったイベントに、各地からの参加者が加わったことは大きな、そして前向きな変化です。こうし

てできたつながりを、ウィズコロナ、ポストコロナにどのようにつなげ、また活かして行くことができるかという課題となります。

もう一つ特筆すべき活動として、青年委員会は、昨年夏にNCC内で発足した「ジェンダー正義に関するポリシー策定のためのワーキング・グループ」(以下WG)と共同で「ジェンダー正義に関する方針を考へ、文書化する働きを担っています。

性差別などの問題は、性差別など、抑圧を考へ、文書化する働きを担っています。性差別などの問題は、ジェンダー正義は教会が真剣に取り組むべき正義の問題なのです。

現在、青年委員会からは安田を含む2名がWGの定例ミーティングに参加しています。ミーティングでは、諸外国の教会でつくられたジェンダー正義ポリシーを読み、学んでいきます。今後は、青年委員会からの代表2名とWGの他のメンバーでポリシーの草案を作り、できあがったものを青年委員会全体で見直していきます。ジェンダーの問題は、年齢に関係なく重要ですが、若い世代の意見や感覚をこれからの教会のありかたに反映させることもまた大事なことからです。

## 社会委員会レレーコラム

### 「本・出会い・教会」②

佐伯里英子  
(シオン教会)

「乙女峠」は、山口市の我が家から60km余の島根県津和野町にあ

る。私は、ドライブで数回訪れている。今年も訪れて本書を購読し、改めてキリスト教信者の凄まじい信仰と殉教の真実を知った。なぜ、このような小都市でここまで悲惨な出来事が起きたのか、1000頁に満たない本書に多く

の証言が残されている。江戸末期に締結された「日米修好通商条約」は、信教の自由について触れている。開国後、浦上の信者は仏教徒を装うことをやめ、キリスト教徒であることを公にするようになった。明治改元の前年幕府は、

53人の信者を受け入れ「乙女峠」に移した。信者たちは役人から改宗を迫られ、従わない者には残酷な拷問が加えられた。三尺牢に監禁、放置された安太郎は「九つ(12時)になると毎夜青い布を纏ったマリア様がお話をしに

来てくださいるので淋しゅうありません」と語っている。雪の中、裸で十字架に縛られ人目に晒され、地面に捨て置かれた祐次郎は、十字架のイエスを思い、辱めを甘んじて受ける恵みを祈った。各藩に送

られた3414人のうち1022人が転宗を申し出、664人が亡くなった。本書は、永井隆(被爆した放射線研究者)が、生き延びて長崎に帰った信者から聞き取ったものであり、彼の絶筆とも言える。

閉鎖的な状況で権威者に指示されれば、人は弱者に対して限りなく残酷になり得るというアイヒマン実験を思い起こす。今、ウクライナで起きていることも重なる。私たちは歴史から何を学ぶのか。

2日間を通じて、引退教師、そして神学生など40名前後の参加者があり、あらためてこれらの主題への関心の高さが感じられた。そしてもう一つ、これらが世界大の問題であることにかわりはないが、各地でわれ取り組まれている教会と教会の宣教、そこで重ねられている祈りもまた、これらの問題と有形無形につながっていることが全体協議の折々に感じられた。脱原発問題の取り組みや平和活動、また地域のディアコニアの活動、またたえず祈りの手をあわせ「忘れない」こと……こうした取り組みもまたセミナーで一緒に考える機会となり意義深いひと時になった。このような継続した学びへの期待と課題について意見交換もされてセミナーは終了した。



「乙女峠」  
(永井隆著・アルバ文庫2012・新書版1952発行)

歴史的な追憶「浦上四番崩れ」永井隆が描く津和野の殉教者物語

閉鎖的な状況で権威者に指示されれば、人は弱者に対して限りなく残酷になり得るというアイヒマン実験を思い起こす。今、ウクライナで起きていることも重なる。私たちは歴史から何を学ぶのか。

2022年5月30日、「牧師のためのルター・セミナー」がオンラインで開催された。テーマは「コロナとウクライナの時代」ルターが今、この時代に生きていたら、21世紀の今、感染と戦争

「ルター研究」報告

宮本新  
日本ルーテル神学校  
専任講師

「ルター研究」報告





# カトリック第16回「シノドス」総会に向けての

## 日本福音ルーテル教会からの応答①

カトリック教会において行われるシノドス(Synodus Episcoporum)世界代表司教会議は、提起された問題を討議し、教皇に意見を具申することを目的に第2バチカン公会議の後、1965年から設置されました。

これは日本聖公会・日本キリスト教協議会からの応答と共に7月21日に行われる日本カトリック司教協議会臨時総会で協議されます。

以下、日本福音ルーテル教会からの応答文書を数回に分けて紹介いたします。

### 2022年6月7日 第16回シノドス

### 「世界代表司教会議」総会からの呼びかけへの応答

日本福音ルーテル教会 エキュメニズム委員会

この主題について話し合い、応答することが呼びかけられました。その中には各地でのエキュメニカルな協力についての問いかけもあり、日本カトリック司教協議会から、日本福音ルーテル教会、日本聖公会、日本キリスト教協議会に対して、協力が呼びかけられることとなりました。

日本福音ルーテル教会では、エキュメニズム委員会を中心に第16回シノドスへの応答文書を作成しました。こ

以下のように応答いたします。

### 1『キリスト者の自由』

シノドスの目指す教会の姿を受け取る時、私たちはルターが1520年に著した『キリスト者の自由』の有名な二つの命題を思い起こしました。

「キリスト者はすべてのものの上に立つ自由な君主であつて、何人にも従属しない」

「キリスト者はすべてのものに奉仕する僕であつて、何人にも従属する」

第一の命題は、神の恵みによつて義とされ救われたがゆえに、キリスト者は自由であるということですが、ここで問題にしたのは、第二の命題です。ルターはこう語り「なぜなら、人間はこの地上においては、身体をもつて生きていくばかりでなく、他の人々の間でも生きていくからである。それゆえ、人間は他の人々に対して行ないないし、行ないが義や救いのために必要でないとしても、他の人々と話したり、かかわりをもつたりしないわけにはいかない。だからこれらすべての行ないにおいては、その行ないをもつて他の人々に仕え、役に立とうという方向にだけ向けられていなくてはならない。つまり、他の人々に必要なこと以外は考えないわけである。」(第26節)。

日本福音ルーテル教会 エキュメニズム委員会 は、この呼びかけに

「わたしもまたわたしの隣人のために一人のキリストとなろう」、このルターの信仰告白は宗教改革500年を迎えた日本福音ルーテル教会にとって大きな使信であり、同時に課題となつています。そして今、この課題に対して、日本のすべてのキリスト教会においても具体的に手を取り合つて向き合つていく時(カイロス)が到来したものと考えます。

「わたしが、自分の隣人を助けるために、かえつて喜んで自らを僕とし、神がキリストをおとして自分とかわつてくださったとおりに、隣人と交わり、またかわるべきである。…すなわち、まことに私の神は、まったく価値のない、罪に定められた人間である私に、なんの功績もなしにまったく無代償で、純粹の憐れみから、キリストをとおり、キリストにおいて、すべての義と救いのみちみちた富を与えてくださった。…そこで、キリストが私に対してなつてくださったように、私もまた私の隣人のために一人のキリストとなろう。」(第27節)。(注1)

「わたしもまたわたしの隣人のために一人のキリストとなろう」、このルターの信仰告白は宗教改革500年を迎えた日本福音ルーテル教会にとって大きな使信であり、同時に課題となつています。そして今、この課題に対して、日本のすべてのキリスト教会においても具体的に手を取り合つて向き合つていく時(カイロス)が到来したものと考えます。

「わたしもまたわたしの隣人のために一人のキリストとなろう」、このルターの信仰告白は宗教改革500年を迎えた日本福音ルーテル教会にとって大きな使信であり、同時に課題となつています。そして今、この課題に対して、日本のすべてのキリスト教会においても具体的に手を取り合つて向き合つていく時(カイロス)が到来したものと考えます。

「わたしが、自分の隣人を助けるために、かえつて喜んで自らを僕とし、神がキリストをおとして自分とかわつてくださったとおりに、隣人と交わり、またかわるべきである。…すなわち、まことに私の神は、まったく価値のない、罪に定められた人間である私に、なんの功績もなしにまったく無代償で、純粹の憐れみから、キリストをとおり、キリストにおいて、すべての義と救いのみちみちた富を与えてくださった。…そこで、キリストが私に対してなつてくださったように、私もまた私の隣人のために一人のキリストとなろう。」(第27節)。(注1)

「わたしもまたわたしの隣人のために一人のキリストとなろう」、このルターの信仰告白は宗教改革500年を迎えた日本福音ルーテル教会にとって大きな使信であり、同時に課題となつています。そして今、この課題に対して、日本のすべてのキリスト教会においても具体的に手を取り合つて向き合つていく時(カイロス)が到来したものと考えます。

## 2022年度 「日本福音ルーテル教会教師試験」について

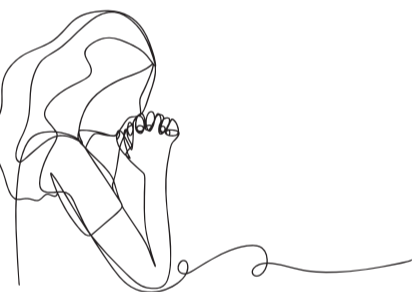
2022年度「日本福音ルーテル教会教師試験」を左記要領にて実施いたします。教師志願者は必要書類を整え、教会事務局にご提出くださいますよう、お知らせします。

### 記

- 〔提出書類〕
- ◇教師志願書
- ◇志願理由書
- ◇健康診断書(事務局に所定の用紙があります)
- ◇所属教会校の推薦書
- ◇神学校卒業(見込)証明書及び推薦書
- ◇提出先) 日本福音ルーテル教会

## 留学生公募のお知らせ

神学校と協議を行い、ドイツにおいてルター神学を学ぶ意欲のある方を、「留学制度に関する規定」第3条2項(2号留学)によつて一名募集いたします。留学期間は2年間になります。応募締切は8月末日といたします。提出書類等、詳しくは事務局までお問い合わせください。なお複数名の応募があった場合は、日本福音ルーテル教会内での審査を行い該当者を決定いたします。



常議員会長 大柴譲治宛

〔提出期限(期限厳守)〕  
2022年9月16日(金)  
午後4時までに教会事務局へ提出すること(郵送の場合は必着とします)

◇個人で神学の研鑽を積み受験を希望する者は、必ず神学教育委員会の推薦を得ること

◇国外のルーテル教会の神学機関に学び神学修士を持ち受験する者は、願書提出前に事務局に相談すること

〔試験日及び試験内容〕  
志願者本人に直接連絡します。

## 公 告

この度左記の行為を致しますので、宗教法人法第23条の規定に基づき公告致します。  
2022年7月15日  
宗教法人日本福音ルーテル教会  
代表役員 大柴譲治  
信徒利害関係人 各位

小田原教会牧師館解体  
所在地 小田原市鴨宮字稲荷森  
所有者 日本福音ルーテル教会  
地番 783番  
種類 教職舎  
構造 スレート葺2階建  
床面積  
1階 46.26㎡  
2階 34.70㎡  
理由 老朽化のため